(様式第3号)

企業・団体名 (有限会社八子ヶ峰ホテル)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R7.10.23変更】

ΤĒ	+1				1			主力	≆SDGs	: (17=	ゴーバ	レと169ター	ゲット)	関連エ	百月		
項目番号	2	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合		1					8 9 10				5 16	17
番号	カテゴリ	アエック項目	レベル	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	105 3666	**************************************		₹ 7	Ø 81		11000 € CO	•	M == 1	¥ ×	₩ ₩
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			雇用、教育、昇進・登録、福利厚生などあらゆる雇用 条件で、差別の無い体制を構築している。現在におい ても、外国人雇用を実現している。			5.1 5.2 5.5		8	i.5 i.7 i.8				16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	基本			従業員教育においてハラスメントの教育を行っている。 る。また、弁護士の講演なども実施している。			5.1 5.2 5.5			i.5 i.8				16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働是正の為の労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。	Ī					i.5 i.8					
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている。		4.4				3.7 10.3 3.8 10.3					
Ę	人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			全体スタッフミーティングの際に衛生面の指導、事故 防止の注意喚起、ヒアリング等を実施している。		3			:	8					
6	労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			メンタルヘルスに関する職場の理解を促進する為の ミーティングを実施している。		3									
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	基本			多様な人材を受け入れるべく、募集要項には規制を設けていない。多様な人材の活躍状況をHPや広報雑誌等で積極的に発信する。	<u> </u>		5.1 5.5		8	10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本		【予定】	職務や役割に応じた研修会・セミナーへの参加を行う。		4	5.5		:	8 9					
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解 し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・ 対応を行っている。			5.5		8	10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			従業員が利用出来る保険への加入をおこなつった		3				8					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類、量などの現状を把握し、適切に処理して いる。							11.6 12.4		14.1		
12	環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			省エネ計画を策定し推進している				-	7.3			13			
13	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定し実施した。					7.2 7.3		12.4	13.3			
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる	基本(必須)		【予定】	法令で規制されている有害化学物質を把握し削減の為 の計画を策定して行きたい。		3.9		6.3			11.6 12.4				

項目番号	カテ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 具体的な取組 場合 (県などの取得駆配があれば、併せて記載)	1	主 2 3 4				レと169ター 8 9 10				15 16	17
番号	テゴリ	アエツク項目	レベル	選択入力	場合 (県などの取得部配があれば、併せて記載) 選択入力 (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	135 8444			Å)	***	127 ∞	•	•	×	****
1	5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)		自社の体験プログラムにおいても自然や生態系を荒ら さないように細心の注意を払っている。				6.6					1	15	
1	6	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)		再利用の推進。また、プラスチック製容器包 装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減 等を推進している。							12.5	:	14.1		
1	7	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)						6.4 6.6							
1	環境	【環境マネジメントシステム】 ・18014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)				3.9		6	7		12	13.3	14 1	15	
1	9	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)									12.6				
2)	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)							7.2			13			
2	ı	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									12.2	13	14 1	15	
2	2	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)		汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内 透を図っている。	浸									16 16.5	
2	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)		不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。	Ę									16	
2		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)		特許、商標等知的財産権については注視している						8.2 8.3 9					
2	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)		「個人情報に関する基本方針」を定めて公表し体制を整備している。また、社内においても情報管理ルールを周知底している。	徹									16	
2	槽	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)												16	
2	7	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への 悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)につい て認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)					5			8 10	12	13	14 1	15 16	17
2	3	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)		「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3				8 9 10					17

項							主	なSDG	is (17	7ゴールと	:169ター	ゲッ	ト)	月連項目		
自	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組(開などの取得的なあれば、供けて記載)	1 2	3 4	5	6	7 8	9 10	11	12	13 14	15 16	3 17
項 目 番 号	アエック模目	レベル	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	initia 2277 initia	8 32000 24/*		Å	i inc	amer ♣	alda.	8	(A)	<u> </u>	****
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。		3.9						12.4			
		基本			顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを 構築している。また、顧客の声を社内で共有する為 の体制を整えている。						9					
31 7	, │ 【現児印思】	チャレンジ (任意)							6				12	13 14	15	
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	テャレンジ (任意)				1 2	3 4	5	6	7 8	9 10	11	12	13 14	15 16	6 17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)			地域との対話に基づき、事業の地域への影響の把握を 行い、日々改善に努めている。		4				9	11	12	14	15	17
地域質献		^F ャレンジ (任意)					4					11		14	15	17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)								8	9	11	12	13		
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念を明文化している。また、経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。					8	9					17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築して いる	基本			コンプライアンスの重要性を全社員に向けて発信して いる。										16	5
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	基本			各部署において責任者を任命している。										16	ō
39 組	す影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			適宜ステークホルダーとの対話により、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている。										16	6 17
	体 制 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)													16	5
41		チャレンジ (任意)													16	;
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	テャレンジ (任意)									9	11		13 13.1	16	5
43		チャレンジ (任意)								8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5 6	7 8	9	10	11 1:	2 13	14 1	15 16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可 能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載 ○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ン 近来が「ボード」では「は、フェンノmy ペンノニッノとのカイビ、「共体の対象は、オスルロバラゼン clust ※1・組織の社会的責任に関する国際規格 ※2・労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定